

2016年3月14日

## ○ 「ノンプレイングクラス」について

2015シーズンまで微風のフリースタイルクラスとして行ってきた「ベーシックトリッククラス」と「トリックマスタークラス」の2つのクラスが生まれ変わります。2016シーズンからは微風のトリックを行うクラスの総称を「ノンプレイングクラス」とし、スペシャル、オープン、ビギナーの3つにクラス分けて行っていきます。名称等の変更理由は、ストラップ技があるかないかという判断で区切ることなく、非常にシンプルに微風フリースタイルの技量によってクラス分けするべきであろうという多くの意見を元にしてあります。今後益々微風フリースタイルへの注目と競技意欲が増していくことを期待しています。

以下の「ノンプレイングクラス」のジャッジについてとジャッジペーパーについても合わせてお読みください。

## ○ ノンプレイングクラスのジャッジについて

ノンプレイングクラスは全てトータルインプレッションで採点されますが、単なる【印象】だけで勝敗の判定をするわけではなく、繰り出される技の難易度、バリエーション、完成度が主な要素となっています。止めどなく繰り出される技一つ一つを細かく分断していくことは容易ではありませんが、基本となっている技に何が加えられているのか、どのように次の技につないでいるのかといった【流れ】もジャッジされています。全体のバランスが非常に大切であることから、難易度が高いからといって同じ技をずっと繰り返していても獲得点が伸びるとは言えません。よくみられる例としてGECKOだけにトライし続けるケースがありますが、確かに技自体の難易度の高さやインパクトはあるものの、演技の流れやバリエーションに欠くこととなりやすいため、必ずしも得点は高く評価されないことが考えられます。リーワードやクリューファースト、テイルファーストやダック系などの要素を持つ技をバランス良く織り交ぜておくことがいい演技と見なされます。「ゲコが上手ければノンプレイングクラスは勝てる」というものではないことを理解しておきましょう。

## ○ノンプレーニングクラスのジャッジペーパーについて

ノンプレーニングクラスには公式のジャッジペーパーは存在しません。採点の記載方法もジャッジ各々の方法によります。例えば、◎○△xのようにチェックしていくジャッジもあれば、【正の字】を書き込んでいくジャッジ、点数を記入していくジャッジもあります。ただし、各ジャッジの記載方法は異なっても、ジャッジ基準は統一されています。選手として自分のヒートのジャッジペーパーを確認する権利がありますが、ジャッジが記録したペーパーを見ただけでは中身の判断がしにくいかもしれません。その際には担当ジャッジに直接訊くようにして下さい。

JWA(日本ウインドサーフィン協会)  
プロツアーフリースタイル委員会